

和光電気株式会社 CSR経営方針・行動指針

基本方針

和光電気株式会社は、経営理念である「**専門サービス・注重効率・追求成長**」の実現に向け、社会と顧客、および社員などの重要なステークホルダーへの社会的責任を推進するためCSR経営方針を定める。関係する役員と社員は、以下の行動指針を十分理解し組織として実現に努める。特にコンプライアンスについては事業活動を行っている各国、地域において適用される法令、社会規範を遵守し、其の他の会社への必要な要請に対しても真摯に対応する。

行動指針

1. 製品とサービスの安定した提供（事業の継続性）
 - i お客様へ製品とサービスを継続的に安定提供する為、事業継続活動を実施する。特に、天災など非常事態時に事業を早期に立ち上げられる様、計画し準備をする。

2. 環境への配慮（環境）
 - i 製品と製造工程の化学物質管理を重視し、顧客へ環境に安全な製品を提供する。
 - ii 環境への影響を最小化するため、資源・エネルギーの有効活用、廃棄物の削減、および温室効果ガス排出量の削減に努め、製品・サービスの開発においてもこの実現に努力する。
 - iii エコステージによる環境マネジメントシステムを確立し、PDCAサイクルを構築する。

3. 人権の尊重（人権・労働）
 - i 社員の多様性、人格、個性を尊重するとともに、あらゆる差別がない職場環境を確保する。
 - ii 社員の公正な処遇とともに、社員1人1人を大切にする。
 - iii 児童労働を禁止する。（取引先関係者を含む）

4. 安全衛生を第一にした事業活動（安全衛生）
 - i 安全を常に確保し、安心して働ける職場を追求する。
 - ii 身体的負荷作業の軽減、配慮を行い、施設の安全衛生と従業員の健康管理を図る。

5. 健全な企業活動（公正取引・倫理）
 - i 業務における汚職・賄賂を禁止する。
 - ii 取引先に対して優先的地位の乱用や、不適切な利益供与と受領を禁止する。

- iii 業界とお取引先様に対して、競争制限的行為を禁止する。
 - iv 正確な製品とサービスの情報提供に努め、自社と第三者の知的財産を尊重する。
 - v 違法な販売を禁止する。特に海外への販売においては適切な輸出管理に努める。
 - vi 社内の不正行為を予防、早期発見に努め、社員からの提言に真摯に対応する。
6. 品質・安全を大切にされた製品・サービス（品質・安全性）
- i 製品安全性の確保を第一に配慮し、顧客への提案を常に行う。
 - ii 製品の不具合や顧客要求は確実に対応し、顧客満足度の向上を実現する。
 - iii 品質マネジメントシステムを確立して、PDCAサイクルを構築する。
7. 情報管理に配慮した業務活動（情報セキュリティ）
- i 取引先・社員の秘密情報や個人情報を適切に取り扱う。
 - ii 情報の紛失、漏洩、改ざんが無いよう、コンピュータおよびネットワークのセキュリティを維持する。
8. 社会問題に貢献する企業姿勢（社会貢献）
- i 社員一人ひとりが主体的に社会活動に参画出来る企業風土をつくる。
 - II 開かれた事業所を目指し、地域社会との共生を図る。
 - III 国際的な交流や協力を積極的に取り組む。

以 上

令和4年3月31日
代表取締役社長 佐藤 順彦